

ANA/JAL 2017 年度の決算について

2018年4月30日

この度発表された ANA と JAL の連結決算数値を簡単に比較しました。

1. 2017 年度決算概観； 図表 1、図表 2 を参照

- ・ ANA が大幅増収で JAL との**収入規模差はさらに拡大**。
ANA 収入は JAL の(前期)**1.37 倍**↗(当期)**1.42 倍**になった。
事業基盤の拡大も効果をあげている(旅客運送以外の事業の規模増)。
- ・ 利益規模は ANA の増益幅が大きく、ほぼ JAL 並みになった。
営業利益(ANA)**1645 億円**、JAL**1746 億円**。
- ・ ANA は Peach を吸収した効果(子会社化)もある。

- ① 収入規模； ANA は前期比+2065 億円； 国際旅客増、Peach のとりこみが大きく、国内旅客、貨物郵便、その他の収入(他社ハンドリング受託等)も増加。
JAL は前期比+943 億円； 国際旅客と国内旅客の増収が大。
- ② 利益規模； ANA はかなりの増益で、営業利益は JAL に近接。
また Peach を取り込んだ特別利益により、最終利益(親会社帰属)は JAL を上回った。

2. 2018 年度収支見通し； 図表 2 を参照

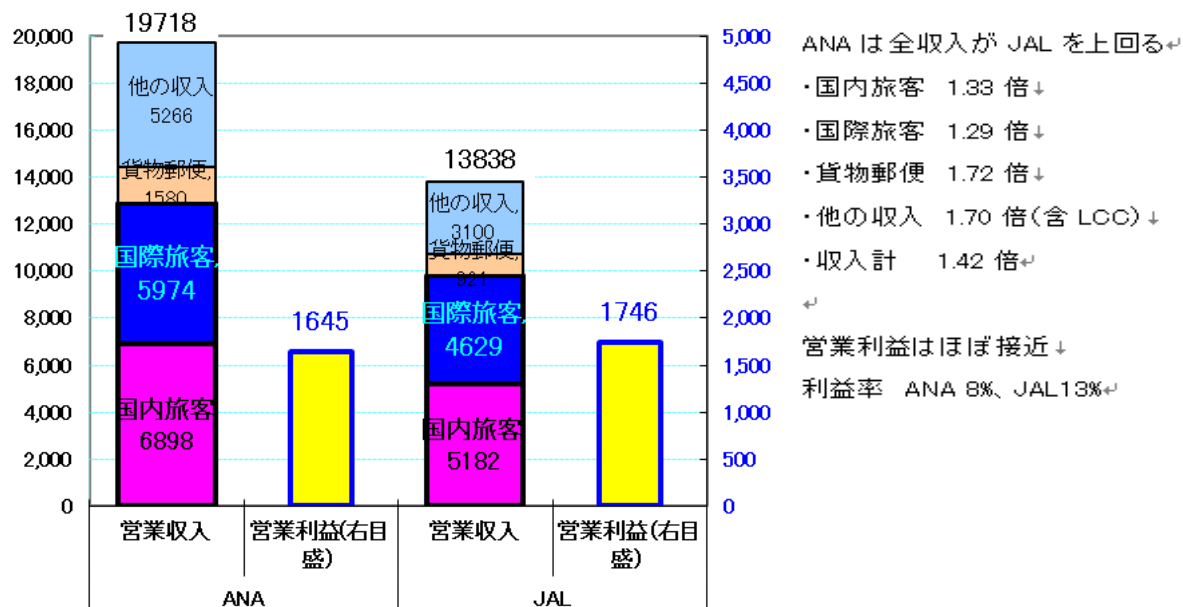
- ・ **JAL は ANA を上回る増収を見込んでいる**。
(JAL の成長への意気込みがうかがえるが、そのとおりになれば、再建後初めて JAL の増収幅が ANA を上回ることになる)
- ・ **利益規模は両社ほぼ並ぶ**ことになる。

- ③ 収入規模； 来期の収入の伸びは JAL の方が大きい。
ANA は当期比+682 億円(+3.5%)、JAL は+717 億円(+5.2%)。
ANA；国際旅客+506 億円、LCC+124 億円
JAL；国際旅客+520 億円、その他収入+159 億円
- ④ 利益規模； 営業利益は ANA 1650 億円、JAL 1670 億円。

JAMR レポート

《図表1》 収入と営業利益の比較(億円)

(注) 営業利益は右目盛



《図表2》 損益計算書の比較(億円)

(2017決算)

- ・ANA: 国際旅客、貨物郵便、Peach組入れで大幅増収
利益水準はJALに近接
- ・JAL: 国際旅客、国内旅客で増収
利益水準はほぼ前年並み

(2018見通し)

- ・当期比の増収規模はJALが僅かながら上回る
- ・利益は横一線に

	ANA				JAL				来期予想	
	2016	2017	差	率	2016	2017	差	率	ANA	JAL
				%				%		
国内旅客	6,783	6,898	114	102	4,986	5,182	196	104		
国際旅客	5,168	5,974	807	116	4,152	4,629	477	111		
貨物郵便	1,324	1,580	256	119	783	921	138	118		
他の航空運送	2,088	2,859	771	Peach	1,673	1,841	168	110		
その他の収入	2,289	2,406	117	105	1,296	1,260	-36	97		
営業収益	17,653	19,718	2,065	112	12,890	13,833	943	107	20,400	14,550
営業費用	16,197	18,073	1,876	112	11,186	12,087	901	108		
営業利益	1,455	1,645	190		1,703	1,746	42		1,650	1,670
(率)	8.2	8.3			13.2	12.6			8.1	11.5
営業外収支	-52	-39	13		-53	-114	-61			
経常利益	1,404	1,606	203		1,650	1,632	-18		1,580	1,560
特別損益	-9	360	369	Peach	-22	-7	15			
税前利益	1,395	1,966	572		1,628	1,625	-3			
税金等	-406	-528	-121		14	-271	-285			
最終利益	988	1,439	451		1,642	1,354	-288		1,020	1,100

(参考)国際旅客収入の路線別比較(概算); 図表4参照

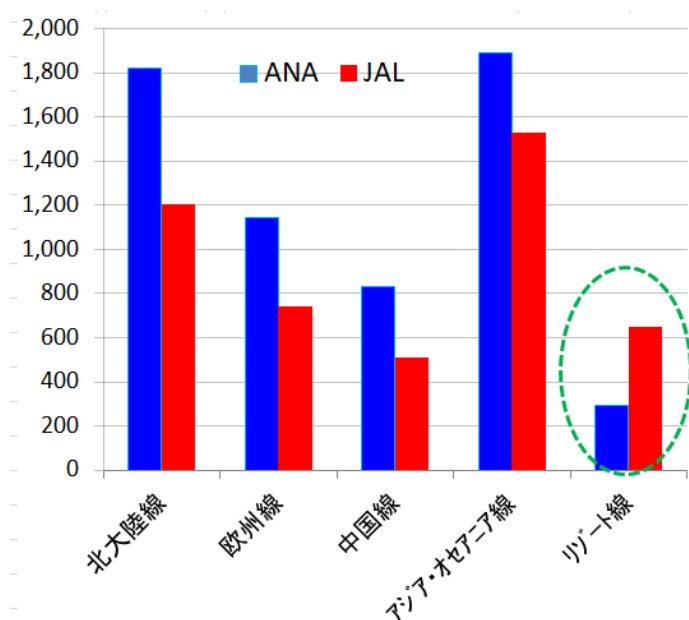
国際旅客収入を路線別にみる(概算値)と、ほとんどの路線で ANA の規模は JAL を上回っている(米大陸、欧州、中国は 1.5~1.6 倍、アジア&オセアニアが 1.2 倍だが、これに LCC が上乗せとなる)。

ただし唯一リゾート路線では JAL の半分以下。

因みにハワイ、グアム線では JAL10 便(1 日当たりの往復)に対して、ANA は 3 便であり多くをパートナー会社とのコードシェアによっている。

ANA は超大型 A380 のハワイ線投入の意味はここにあると考えられる。

《図表4》 国際旅客収入の路線別比較(億円)

**4. 貸借対照表の比較(億円); 図表5参照**

- ・ 総資産は、ANA(2.56兆円)はJAL(1.85兆円)の1.38倍。
- ・ JALは、有利子負債が少なく(ANAの6分の1以下)、手元資金が上回っている。また利益剰余金もANAの約1.6倍。
- ・ ANAは航空機&建設仮勘定が多く、JALの約1.5倍。
- ・ Peach子会社化時の、純資産に対する超過額は無形固定資産に計上されている。
- ・ 両社ともに、今後の成長に向けての投資には、積極的姿勢がうかがえる。

《図表 5》 貸借対照表の比較(億円)

	ANA		JAL 3月末	差(ANA -JAL)
	前期末	3月末		
	億円	億円	億円	億円
現預金、有価証券	3,188	3,576	4,488	-913
営業未収入金	1,559	1,735	1,513	222
航空機	10,077	10,279	7,041	3,238
建設仮勘定	1,519	2,023	1,239	784
他の有形固定資産	2,007	1,300	527	773
繰延税金資産	889	934	663	271
無形固定資産(含のれん)	890	1,552	957	596
その他資産	3,015	4,225	2,114	2,111
資産合計	23,144	25,625	18,542	7,082
営業未払金	1,792	2,203	1,779	424
有利子負債	7,080	7,781	1,184	6,597
リース債務	219	203	67	136
退職給付引当金	1,568	1,568	2,301	-733
発売未決済	1,506	1,814	1,075	738
その他負債	1,738	2,051	1,195	856
負債合計	13,902	15,619	7,601	8,018
資本金・資本剰余金	6,020	5,870	3,644	2,226
利益剰余金	3,348	4,668	7,311	-2,643
その他	-127	-533	-14	-519
純資産合計	9,242	10,006	10,941	-936

以上(Y.A)